

～ パネルと紙芝居、昔の写真を通してよみがえる ～

阿賀野川の忘れられた光と影



小竹コレクション

かつて、帆かけ舟が多数往来し、鮭やマス、川魚が豊富に獲れ、子ども達が楽しみに遊び、人々の生活の場そのものだった阿賀野川。

しかし、明治以降、上流に様々な企業が進出し、日本の近代化を華々しく支えた裏で、新潟水俣病などの公害が阿賀野川に暗い影を落としていった。

やがて、日本全体が豊かになり、かつての光景も姿を消してしまった現在、私たちは光と影の記憶を思い出すことすら少なくなった。

光と影の記憶を、流域の未来へどうつなげていくか。

日時 平成22年 **12月25日** (土)
13時30分～14時10分 (開場：13時～)

会場 角神温泉 **ホテル角神 本館2階**
(住所：阿賀町鹿瀬 11840、TEL 0254-92-2613)

内容 ○ 紙芝居「阿賀野川物語」上演
昭和電工(株)鹿瀬工場社宅
○ 写真映像「ハーモニカ長屋から眺めた風景
～写真で綴る鹿瀬・昭和電工・阿賀野川～」上映



鹿瀬工場タイムス



パネル巡回展 鹿瀬・昭和電工・阿賀野川

～光と影が織りなしてきた歴史～

ホテル角神で1/3まで開催中!

通常の観覧時間は11:00～15:00です。
ただし、12/25のみ16:30まで観覧でき、
午後から解説員がご案内いたします。



◆◆ 注意事項 ◆◆

参加費無料・予約不要ですが、当日の参加者が多数だった場合は、14時20分以降に2回目を開催することとし、そちらへ参加していただく場合もございます。あらかじめ、ご承知おき願います。

阿賀野川え～とこだプロジェクト とは？

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称 FM 事業)。
阿賀野川流域の各地域がかつて発生した新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクト。

